

UNICEF NEWS in みやぎ

Vol. 91
ユニセフ・ニュース
2019年1月

僕たちは、僕たちのために、
スポーツをするんだ。

<世界子どもの日>

11月20日は、世界の子どもたちの相互理解と福祉の向上を目的として、国連によって制定された「世界子どもの日」です。

29年前に誕生した『子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）』は、世界で最も多くの国が批准する条約の一つです。第31条でも、国籍や性別、障害の有無に関わらず、すべての子どもが休息や余暇、年齢に適した遊び及びレクリエーションの活動の権利を持つと謳っています。遊びやスポーツは、子どもの健全な成長を促す大きな力を持っています。しかしながら、世界各地で暴力的な指導や子どもの心身の発達に配慮しない過度なトレーニングが横行するなど、スポーツが子どもの成長に負の影響を与えるような問題が生じています。2019年から2020年に国際的な大規模スポーツイベントの開催を控え、日本国内でスポーツに対する関心が高まっています。



©UNICEF/UN061999/Viswanathan



©UNICEF/UN020637/Chanlewis



©UNICEF/UN041077/Calkis

<子どもの権利とスポーツの原則>

ユニセフ（国連児童基金）と日本ユニセフ協会は、『子どもの権利条約』が誕生した11月20日、まさに子どもの健全で豊かに充ちた成長を支えるスポーツを実現するために、スポーツに関わるすべてのおとなが協力して取り組むために新たな指針『子どもの権利とスポーツの原則』（Children's Rights in Sport Principles）を発表しました。ユニセフとして初めて、スポーツにおける子どもの権利を謳う本原則は、国内外の専門家と連携して作成を進めてきたものです。

10の原則

スポーツ団体とスポーツに関わる教育機関、スポーツ指導者に期待されること

1. 子どもの権利の尊重と推進にコミットする
2. スポーツを通じた子どものバランスのとれた成長に配慮する
3. 子どもをスポーツに関係したリスクから保護する
4. 子どもの健康を守る
5. 子どもの権利を守るためのガバナンス体制を整備する
6. 子どもに関わるおとなの理解とエンゲージメント（対話）を推進する

スポーツ団体等を支援する企業・組織に期待されること

7. スポーツ団体等への支援の意思決定において子どもの権利を組み込む
8. 支援先のスポーツ団体等に対して働きかけを行う

成人アスリートとその組織団体に期待されること

9. 関係者への働きかけと対話を行う

子どもの保護者に期待されること

10. スポーツを通じた子どもの健全な成長をサポートする



(公財) 日本ユニセフ協会ホームページより

「ベトちゃんドクちゃんのこと、覚えていますか？」 中村梧郎写真展

半世紀前のベトナム戦争で大量にまかれた猛毒のダイオキシンを含む「枯葉剤」は、森や田畑を破壊しただけでなく、300万人が健康被害を受けました。ベトナムの兵士や民衆はもとより、アメリカや韓国の兵士たちも皮膚炎やガンなどに苦しみ、さらにダイオキシン汚染は親から子、子から孫へと世代を越えて被害が続いています。中村さんは1970年から現在に至るまでベトナム戦争取材し、枯葉剤の人体被害を追っています。

9月30日（日）、仙台市福祉プラザにおいて中村梧郎さんの写真展を開催しました。前日夜に中村さん自ら展示設営に関わり、1日だけでしたが、70枚の写真の数々を見ていただきました。戦争の残酷さ、人間の力強さを感じることができました。中村さんによる2回のギャラリートークには100名の方が参加しました。会場のスクリーンに写真や貴重なデータを映し出しながら行いました。1961年から10年間の枯葉剤作戦での被害の様子だけでなく、化学兵器は核兵器と同様に即時全面禁止にしなければならないことや、原子力発電所を保持することの危険性など、日頃の情報からはなかなか知り得ないことを知る機会となりました。写真の展示とともに、会場のテレビモニターで、2018年1月にベトナムで開催したチャリティマラソン～オレンジマラソン～の様子を上映しました。

地球に暮らす私たちは、子どもも含め、たった一つのたいせつな地球を守るため、平和を実現するためにどうすれば良いかを常に探求しています。そのことを、国をリードする人たちに伝えていかなければと痛感しました。

会場に募金箱を設置し、ユニセフ募金へ4,671円、枯葉剤被害者への募金として7,258円のご協力がありました。この日の来場者は130名でした。中村さんの著書「新版 母は枯葉剤を浴びた」（岩沼現代文庫）40冊も完売しました。



▲生後10ヶ月のベトちゃんドクちゃん



▲チャリティマラソンでの高橋尚子さんと36歳になったドクさん

写真提供：中村梧郎さん



▲写真会場にて中村さん(中央)と



▲ギャラリートークの様子



▲戦争の悲惨さ、平和の大切さを訴える写真の数々

参加者の感想

枯葉剤の被害は決して過去の事ではない。加計学園問題の別の真実に驚いた。沖縄のこと(ちょうど本日は沖縄県知事選挙)、福島のこと、貧困と格差、米国の側に立つ日本・・・無力さを感じるが、今日の体験が次のステップになるパワーをいただいた。

学生時代に「ベトナム戦争反対」のデモに参加しました。私たちが声を上げ続けること、真実を伝えていくことが大事だと強く思いました。

2回目となる来年のオレンジマラソン、参加してみようと思いました。

ユニセフ・キャラバン・キャンペーンが宮城県を訪問

～宮城県知事・教育長とのメッセージ交換、教職員研修・学校訪問など～

日本ユニセフ協会では、ユニセフ活動の普及啓発を目的に、4年間で全国を一巡する「ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」を1979年の国際児童年から実施してきました。宮城県への訪問は4年ぶり、10回目を迎えました。2018年10月25日に村井嘉浩知事(佐野好昭副知事が代行)ならびに高橋仁県教育長を表敬訪問し、日本ユニセフ協会赤松良子会長のメッセージを交換しました。その後、教職員50名に「ユニセフ研修会」を実施し、ユニセフ活動の説明に加え、「持続可能な開発目標(SDGs)」に関するワークショップを行いました。翌日は利府町市立菅谷台小学校としらかし台中学校で「ユニセフ教室」を開催しました。世界の子もたちが直面する課題について映像を交えながら説明し、「水がめ」や「蚊帳」の体験、栄養不良を見つける「上腕計測メジャー」など、様々な体験を通して自分にできることを考える機会となりました。



▲高橋仁県教育長(右)とメッセージ交換をする日本ユニセフ協会水野眞里子学校事業部長



▲「子どもたちが22世紀を迎えるために」グループワークを発表する様子

小学校、中学校はじめさまざまな団体や一般の方々を対象としています

ユニセフの学習会では、対象年齢や時間、人数、希望のテーマに応じて内容を組み立てています。特に小学校高学年では「私たちの国際協力」の導入として要望されています。日本も戦後にユニセフから学校給食用の粉ミルク等の支援があったことや、日本におけるユニセフ募金は、支援を受けた子どもたちが今度は自分たちができることをしようと、学校で呼びかけた「学校募金」から始まったことを伝えると、驚きの声が上がります。60年以上にわたってユニセフ学校募金活動が受け継がれ、日本の子どもたちと世界の子どもたちをつなぎ続けています。

ユニセフ学習会実施（2018年1月～12月）

- ・みやぎ生協多賀城店こ～ぶ委員会（1/15）・仙台白百合学園中学校（1/19）・聖ドミニコ学院中学校（2/5）・大崎市立東大崎小学校（2/6）
- ・登米市立東和中学校（3/2）・大崎市立宮沢小学校（7/3）・みやぎ生協消費生活研究会（7/13）・登米市社会福祉協議会迫支所（来訪7/25）
- ・仙台白百合学園高校（来訪7/30、10/23）・東北学院高校（来訪8/29）・名取市立増田小学校（9/3）・仙台市立北仙台小学校（11/16）
- ・聖ドミニコ学院小学校（11/28）・名取市立ゆりが丘小学校（12/10）



▲聖ドミニコ学院小学校



▲名取市立増田小学校



▲仙台市立北仙台小学校

せんだい地球フェスタ 2017 9月17日（月・祝）



今年のテーマは『文化を越えて、国境を越えて、私たちはひとつ』。市民の国際交流、国際協力、多文化共生などの国際活動を紹介し、さまざまな出会いと学びの場を提供するイベントです。仙台国際センター展示棟を会場に58団体が出展し、来場者は8,100名でした。ユニセフのブースでは、「ガチャポン de 100円募金」「ユニセフクイズ～子ども用&大人用」「SDGsの花を咲かそう～持続可能な開発目標に対し自分のできること宣言～シール投票」などで400名を超える方に活動を紹介しました。ユニセフ・マークの顔ハメ写真も大好評で、多くのお客様に楽しんでいただきました。15,180円の募金協力がありました。ご協力くださいました皆さま、ありがとうございました。



UNICafe ～気軽なユニセフ入門講座 10月6日（土）

気軽にユニセフのことを知ってもらう機会として年2回開催しています。下期も、みやぎ生協文化会館ウィズを会場に開催し、15名が参加しました。日本ユニセフ協会大使の長谷部誠さんが訪れたエチオピアでの「ワクチンを届ける」活動をビデオ視聴し、多方面の著名人がユニセフ活動を広めていることを伝えました。日本ユニセフ協会発行のポスターから、子どもたちが訴えていることへの理解や、最近知られつつある「持続可能な開発目標（SDGs）」のクイズ、「世界に広めようSDGs」のビデオを通し、地球を守ること、未来の子どもたちを守ることの大切さを学ぶ時間となりました。



ユニセフ募金報告（2018年8月～2018年12月：宮城県ユニセフ協会預かり）

<一般募金>

塩釜市立第三中学校生徒会、塩釜市立玉川小学校、柴田町立船岡小学校、聖ドミニコ学院小学校ハンド・イン・ハンド、仙台市立館小学校、多賀城市立東豊中学校、東北学院高校2年F組、富谷町立富ヶ丘小学校青空児童会、登米市立宝江小学校、登米市立南方小学校ふたば児童会、



▲南光紫陽幼稚園（12/17）

登米市立南方中学校、登米市立柳津小学校、東松島市立大曲小学校しるばと児童会、宮城県立視覚支援学校インターアクトクラブ、南光紫陽幼稚園、河北新報社ハッピーメッセ、「せんだい地球フェスタ」会場募金、「中村悟郎写真展」会場募金、宮城一般労働組合みやぎ生協支部、みやぎ生協こ～ぶ委員会ハンド・イン・ハンド、匿名

（敬称略・順不同）

他にも、個人の皆さまからのご協力をいただいております。

～ご協力ありがとうございました～

『富谷市 子どもにやさしいまちづくり宣言』 2018年11月20日

富谷市は、国連が定める「世界子どもの日」にフォーラムを開催し、ユニセフが世界各地の自治体で展開する「子どもにやさしいまちづくり事業(Child Friendly Cities Initiative)」を推進することを宣言しました。若生裕俊市長が「子どもが地域社会の絆の中で役割を持ち、生き活きと参加できるまち」「子どもの意見を聴き、まちづくりに活かすまち」などを掲げた5項目の宣言を読み上げました。

子どもにやさしい社会は、誰にとってもやさしい社会。子どもの可能性や発想力を重視すれば、社会も変わります。自己肯定感が低いとされる日本の子どもたちにとって、「子どもにやさしいまちづくり」をめざす必要があります。



▲宣言を読み上げる若生市長

※富谷市は、日本ユニセフ協会から「日本型子どもにやさしいまちモデル検証作業自治体」の委嘱先として全国5市町の一つ、東北では唯一の自治体選ばれた。

◆◆◆ 2019年度活動予定(1月～12月) ◆◆◆

1月	○ 会計監査	7月	○ ユニセフ外国コイン募金箱より回収 (仙台空港国際線)
2月	○ 全国協定地域組織事務局長会議 (東京・日本ユニセフ協会)		◎ 夏休みユニセフ教室 「親子で参加する外国コイン仕分け活動」 (みやぎ生協ウィズ、27日)
3月	○ 2019年度第1回理事会・評議員会 (フォレスト仙台、7日)		
4月	◎ 写真パネル展「子どもの権利を守るパネル展」 (宮城県庁1階ロビー)	9月	◎ せんだい地球フェスタ2019 (仙台国際センター)
5月	◎ ユニセフのつどい2019 in みやぎ ～シンポジウム「守りたい、子どもたちの未来」 登壇：渡辺祥子さん、佐藤敏郎さん、丹野祐子さん、他 (仙台市シルバーセンター、26日)	10月	◎ UNICafe ～気軽なユニセフ入門講座 (みやぎ生協ウィズ)
6月	◎ UNICafe ～気軽なユニセフ入門講座 (みやぎ生協ウィズ)	12月	◎ 映画上映会 (せんだいメディアテーク)
	○ 学習講師研修会(東京・日本ユニセフ協会)		◎ ハンド・イン・ハンド(街頭募金活動、23日)

＜書籍紹介＞



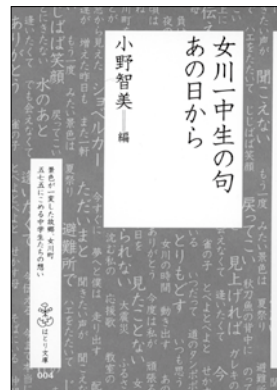
▲「写真で伝える仕事～世界の子もたちと向き合って」
安田菜津紀・著
日本写真企画・発行
926円+税



▲「母は枯葉剤を浴びた～ダイオキシンの傷あと」
中村梧郎・著
岩波現代文庫
1,000円+税



▲「知っていますか？SDGs～ユニセフとめざす2030年のゴール」
制作協力・(公財)日本ユニセフ協会
さ・えら書房・発行
2,500円+税



▲「女川一中生の句あの日から」
小野智美・編
はとり文庫・発行
900円+税

＜ボランティア募集＞・・・『できるときに、できることを！』

ボランティアさんの活動として、『ボランティア例会(毎月22日)』や『ボランティア学習会』があります。出前講座(ユニセフ学習会)は学校などからの依頼によりますが、学習講師として、あるいは講師補助として活躍する場面があります。年4回発行しているニュース・レターの発送作業もボランティア活動のひとつです。1・4・7・10月に数日間行っています。さまざまな活動については、お気軽にお問い合わせください。

宮城県ユニセフ協会 月曜～金曜日 10:00～17:00

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協A棟3F
Tel 022-218-5358 Fax 022-218-3663
E-mail:sn.municef_miyagi@todock.jp
URL <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>
ユニセフニュースは年4回発行しています。(1月・4月・7月・10月)



郵便局(ゆうちょ銀行)ユニセフ募金口座のご案内

振替口座：00190-5-31000
加入者名：公益財団法人日本ユニセフ協会
通信欄に「K1-040 宮城県ユニセフ協会」と記入
※窓口からの送金は手数料がかかります